


○ 日本側所蔵記録

資料番号	J. II-7	資料名	正徳度朝鮮通信使行列絵巻
			
<p>紙本著色（縦×横）27.7×①1,476.7、②1,462.9、③1,365.1cm</p>			
<p>1711年に来日した第8次朝鮮通信使の行列図。江戸幕府の命によって、随行役の対馬藩が江戸の町絵師40名余を動員して描かせた。現在この絵巻は3巻に分割されているが、当初は一本につながっており、40mを超える長大なものであった。通信使一行の行列の全貌を描かせた記録画としての性格の強い作品であるが、実際には通信使一行が江戸に到着する以前から情報収集をおこないつつ制作が開始されていた。徳川御三家のうち、紀州徳川家に伝来したという。</p>			
資料番号	J. II-8	資料名	朝鮮信使参着帰路行列図
			
<p>（図版は部分）</p>			
<p>卷子装 紙本著色 〔縦×横〕28.5×1321.7、1243.9、1297.0、1257.1cm</p>			
<p>1711年の朝鮮通信使が江戸に到着した時と帰国のために出立した時の様子画いたものである。制作時は1巻であったが、その後4巻に分巻されて伝来している。 作者は、対馬藩御用絵師俵喜左衛門ほか40名の町絵師たちで、対馬藩の命により江戸の工房で制作した。この時制作された絵巻は14巻あったとされるが、現在は分散して韓国(k. II-35)と日本(本図、J. II-7及びJ. II-9)の両国で保存されている。ユネスコ記憶遺産登録を機にこれらが一体性を取り戻すことは意義深い。</p>			